



防災力の強化に向けて

(仮称)防災センターを建設しています

危機管理防災課 防災安全係 ☎(232)2110

昨年9月から、役場本庁舎北側に(仮称)防災センターを建設しています。これまでの工事の様子を紹介します。

災害時の拠点として建設中

町では、平成28年熊本地震の教訓をもとに、災害対応力を高めるため、昨年9月から、役場本庁舎北側に(仮称)防災センターを建設しています。

専用の災害対策本部室を設け、自衛隊など外部からの応援部隊の拠点となる部屋も設けます。大型の備蓄倉庫も備え、災害時の被災者支援を強化します。



(仮称)防災センター完成予想図
R C造3階建て2,323.4㎡

工事経過紹介

昨年9月の着工からこれまでの工事の様子を紹介します。

令和2年9月 車庫解体

役場本庁舎北側は、もともと公用車と職員の駐車場として利用していました。(仮称)防災センターの建設に当たり、その解体から始めました。



令和2年10～11月 杭打ち
建物を支える杭を地中に埋め込みました。杭1本の長さは20m、48本あります。初めに縦穴を掘り、そこにクレーンで釣り上げた杭を入れ、所定の深さまで埋め込みました。



令和2年12月 基礎造り
(仮称)防災センターは、鉄筋コンクリート造です。基礎となる部分に鉄筋を組み、型枠を設置し、コンクリートを流し込みました。



令和3年1月 1階床部分
基礎ができ上がり、梁の間を、良質土で強固に埋め戻しました。



その後、断熱材を敷き、土間配筋を行い、コンクリートを流し込んで、1階床部分を作りました。



町ホームページ
工事観測
QRコード

令和3年2月 1階部分

1階の柱や壁の鉄筋を組み、型枠を設置していきます。



1階天井の型枠設置と配筋も行い、それが2階床部分になります。



これらが終わったら、上からコンクリートを流し込んで、1階柱・壁部分と天井・2階床部分を一体的に作ります。2階部分も同様に作っていきます。

完成予定は今年9月

完成は9月の予定です。工事の様子は、町ホームページで随時お知らせします。周辺にお住まいの皆さんや来庁者の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。



災害に備える 1



令和2年7月豪雨に見られるように、近年の災害は、被害が大きくなる傾向にあります。これから梅雨や台風の時期を迎えるに当たり、災害への備えを確認しましょう。

今回は、指定緊急避難場所・指定避難所、避難のポイントについて解説します。

指定緊急避難場所とは

災害による危険が切迫した状況において、身の安全の確保を目的として緊急に避難する施設または場所として、町があらかじめ指定したところです。

指定避難所とは

避難した住民が災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により家に戻れなくなった住民が一時的に滞在することを目的とした施設として、町があらかじめ指定したところです。

町では、町民センターを中心に、指定緊急避難場所と指定避難所として延べ23カ所を指定しています。災害の際に実際に開設している場所は、町からのお知らせを確認してください。

避難のポイント

- ① 避難とは【難】を【避】けることです。ハザードマップで災害リスクを確認し、安全な場所にいることが確認できれば、避難場所に行く必要はありません。
- ② 避難先は、指定緊急避難場所・指定避難所だけではありません。安全な親戚・知人宅も選択肢の一つです。
- ③ マスク・消毒液はできるだけ持参しましょう。
- ④ 開設される避難場所・避難所は、防災行政無線・町ホームページなどで確認してください。
- ⑤ 明るいうちに避難しましょう。

問い合わせ

危機管理防災課 防災安全係 ☎(232)2110

